

小児がんAYA世代がん

Plan 計画

- 1 小児・AYA 世代がん診療の更なる充実のための議論と情報提供(広報活動)を行う。
 - 1-1 東京都小児がん診療病院運営委員会(臨時)を開催(隔月)
 - 1-2 小児がん地域連携推進研修会開催
 - 1-3 病院ホームページの掲載内容更新
- 2 当病院の患者数や診療実績及び診療体制の把握と情報共有を行い、当病院の課題に対する評価・検討を行う。
- 3 東京都の小児・AYA 世代がんの施策等に関する情報収集及び他施設委員との情報交換を行う。
- 4 研修会等の機会に参加することで、各人のスキルアップと院内へのフィードバックに努める。

Do 実行

- 1-1: 東京都小児がん診療病院運営委員会(臨時)を開催(計5回)
- 1-2: 令和3年度小児がん地域連携推進研修会開催(R04/03/09)
- 1-3: 病院ホームページのリニューアルに伴う「小児および AYA 世代のがん医療について」の掲載内容確認(令和3年7月)
- 1-4: 区西北部ブロック病院相互訪問での発表(令和3年12月)
発表内容:「小児がん AYA 世代がんの診療の取り組み」
- 2-1: 東京都小児がん連携病院現況報告書提出
- 2-2: 関東甲信越地域小児がん連携病院現況報告書提出
- 2-3: 小児がん連携病院 QI を提出(2019年、2020年症例)
- 3: 東京都小児・AYA 世代がん診療連携協議会及び各 WG に参加
- 4: 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会及びアドバンス研修に参加(計6名)

Action 改善

- 1-1: 引き続き定期的な委員会開催を通じて、情報共有と共に必要な議論を行っていく。特に当病院に求められる役割と機能について、あらためて課題の抽出と解決策について検討・議論を行う。
- 1-2: 次年度も同研修会を開催予定とする。開催地域(共催)、開催案内方法等を検討し、参加者がより多くなるよう周知方法を検討する。
- 1-3: 診療実績の他に更新できる箇所の有無を検討し、より最新の情報を提示することを努める。
- 1-4: 関係各所と協議し、PDCA サイクルとして構築することについて検討を進める。
- 2-1, 2-2, 2-3: 次年度も引き続き、当委員会として当該各データ及び指定要件の確認と情報共有を継続する。特に人員に関する指定要件については、より充実させるべく評価・検討を行う。次年度も同様のデータ提出を行うために、委員会として適宜対応する。
- 3: 引き続き各 WG の協議事項を当委員会で情報共有を行う。
- 4: 次年度の各研修会への参加者の選出及び研修会への参加を促すことに努める。

Check 評価

- 1-1: 5回の開催全てオンラインで開催し、上記 Do で記載の事案について、委員会で情報共有及び議論を行った。
- 1-2: 前年度と同様にオンラインで研修会開催、申込者、参加者共に前年度よりも大幅に上回る結果となり、参加者からのアンケートも良好な結果であった。
- 1-3: 前年度に記載内容の大幅な更新を行っていたため、今年度は記載内容の確認のみとなった。診療実績の箇所等、更新できる箇所は随時更新することを次年度以降検討する。
- 1-4: 発表内容「小児がん AYA 世代がんの診療の取り組み」を受けて、記載内容を PDCA サイクルとして実施及び当委員会で評価する仕組みを要否も含めて検討する。
- 2-1, 2-2: 直近(2020年症例)の小児がん症例数の減少については、コロナ禍やその他の事情によりやむを得ない部分があることについて確認を行った。
- 2-3: 今年度からの事業であり、今後もデータ提出を継続する。
- 3: 各 WG での協議事項を当委員会で情報共有を行った。
- 4: 次年度も可能な限り、当該各研修会に参加することとなった。